海外安全対策情報(ウルグアイ)2021年第3四半期

1 治安・社会情勢

当地の治安情勢については、昨年同期間(7月～9月)と比較すると犯罪発生件数は減少していますが、引き続き殺人、強盗、窃盗被害に注意が必要です。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い経済活動が減速していることから、治安の悪化が懸念されます。また、当国では労働者の権利意識が高く労働争議(ストライキ)が度々行われることから注意が必要です。

2021年1月から6月における交通事故に関しては、総事故件数は8,348件であり、事故による総被害者数は10,450名となりました。総被害者数の内訳は、死亡者221名、重傷者1,367名、軽傷者8,862名であり、前年同時期比では、死亡者+10.5%、重傷者+3.8%、軽傷者+2.7%です。

同期間における死亡事故は202件発生し、前年同時期より6.9%増加しました。死亡事故及び死亡者の詳細は以下のとおりです。

・死亡者のうち48%が国道(Ruta nacional)、52%が県道及び市道等で発生した事故が原因。

国道…カネロネス県:28名、セロ・ラルゴ県:15名、モンテビデオ県、タクアレンボ県:8名

県道、市道等…モンテビデオ県:39名、カネロネス県:21名、マルドナド県:13名

・死亡者のうち79%が男性。

・死亡者が多い年齢層は、20歳～24歳及び70歳以上。

・死亡者のうち53%がバイク運転者。

2 一般犯罪、凶悪犯罪の傾向

(1)殺人・強盗

2021年7月～9月の殺人、強盗及び窃盗発生件数は、前年同期間と比較すると殺人3.8%、強盗-18.3%、窃盗-0.2%と、殺人、窃盗についてはほぼ横ばいであり、強盗については減少しています。

また、2021年1月～9月の犯罪発生件数を前年同時期と比較すると、殺人-16.7%、強盗-17.4%、窃盗-6.5%と減少していますが、大幅な改善は見られません。また、強盗には銃器や刃物が使用されるケースが多発しています。

○2021年7月～9月の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 81件(前年同時期に比して 3.8%増)
- ・強盗 : 5,862件(前年同時期に比して 18.3%減)
- ・窃盗 : 27,281件(前年同時期に比して 0.2%減)
- ・DV : 8,956件(前年同時期に比して 6.2%増)

○2021年1月～9月の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 214件(前年同時期に比して 16.7%減)
- ・強盗 : 18,254件(前年同時期に比して 17.4%減)
- ・窃盗 : 84,110件(前年同時期に比して 6.5%減)

・DV : 25,622件(前年同時期に比して 5.8%減)

(2)事案一覧(邦人在留エリア対象)

別紙参照。

3 テロ・爆発事件発生状況

事件は報告されていません。

4 邦人被害の犯罪発生状況

<強盗被害>

●9月3日午後8時頃、モンテビデオ市サシャーゴ(Sayago)地区 Bv. José Batlle y Ordóñez(通称:Propios)通り近くの C. Covadonga 通りにおいて、被害者が車を道路脇に停車中、犯人の男(単独犯)に拳銃を突きつけられ、車から降りよう命令された。被害者が車から降りた後、現金等を奪い、同被害者の車で逃走。被害者に怪我等はなかった。

<注意点>

強盗事件等は、基本的には夜間の人通りの少ない場所において発生する傾向が強いですが、時間や場所を問わずに発生しています。また、昨今の犯罪には拳銃等が凶器として利用されることが多くなっており、外出する場合には様々な形態の犯罪に遭遇する可能性を念頭に、周囲に警戒しながら行動するよう心がけてください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨今、ウルグアイ国内において、けん銃や凶器を使用した強盗事件が多発しています。また、一般的に外国人は「裕福」と見られているため、日本企業及びその関係者が強盗や誘拐の標的となる可能性も排除できません。仮に強盗事件に遭遇した場合には、抵抗する・大声を上げる・逃げる等犯人を刺激するような行動はくれぐれも避けてください。

また、日頃より「安全のための3原則」である、「目立たない」、「行動を予知されない」、「用心を怠らない」を心がけ、「自分の身は自分で守る」ことを意識しながら行動することが肝要です。

<犯罪事案一覧(邦人在留エリアを対象とした主なもの)>

発生日時	発生場所	事案種類	概要
7月2日	カネロネス県 シウダ・デ・ラ・コ スタ市	殺人	犯人の男がパートナーの女性を殺害。犯人は、「自分のパートナーは末期がんを患い、彼女は死を望んでいたため、その手助けをした」と供述していたが、その後の警察による調べによって、男が被害者に対し暴力を振るっていたことが判明した。
7月11日	モンテビデオ県 アグアダ地区	死亡	モンテビデオ県アグアダ地区 las calles Marcelino Berthelot y Av. General San Martin において、傷を負い大量の血を流して倒れている男性を発見。目撃者の情報によると、同通りをバスで通った際に、血を流して倒れている男性を発見し、その後警察に通報した。男性は、警察により病院に運ばれたが、その後死亡が確認された。
8月10日 10:30頃	モンテビデオ県 トレス・クルセス・ ショッピング (トレス・クルセス 地区)	拳銃強盗	ショッピングセンター内の宝石店に銃を所持した男2人が押し入り、店員を銃で脅したうえ総額約3万ドル相当の現金や宝飾品等を奪い、外で待機していた3人目の仲間の運転する車で逃走。逃走に使用された車は、現場から約1.5km離れた場所に乗り捨てられており、警察の調べで、同車は盗難車であることが判明。なお、同強盗で怪我人等は出ていない。
8月11日	モンテビデオ県 ポシートス地区、 マルビン地区、 カラスコ地区	身柄拘束	モンテビデオ県警及びインターポールが共同でマルビン・ノルテ地区及びカネロネス県シウダ・デ・ラ・コスタ地区において9件の家宅捜査を行い、数ヶ月間で少なくとも8件の空き巣や自動車盗の容疑で、犯罪グループのメンバーら7人の身柄を拘束した。また、現金43万ペソ、外国紙幣、宝飾品、家電製品、バイク1台、高級車4台等が押収された。
8月14日	モンテビデオ県 サンティアゴ・バ スケス刑務所	脱走	昨年11月11日にコロニア県で逮捕され、サンティアゴ・バスケス刑務所に服役中の麻薬組織のリーダー格の男(ウーゴ・ペレイラ)が同刑務所を脱走。
8月17日	モンテビデオ県 パレルモ地区	拳銃強盗	ベネズエラ国籍(20歳)及びコロンビア国籍(29歳)の男性配達人2人が配達中に4人組に襲われ、乗っていたバイク及び携帯電話を奪われた。なお、その際、配達人が抵抗したため犯人らは所持していた銃を発砲し、配達人の1人が臀部を負傷した他、路駐中の車の窓ガラスが割れるなどの被害が確認された。

<p>9月21日 3:00頃</p>	<p>カネロネス県 ミラマル公園、 ルーズベルト公 園付近</p>	<p>ATM強盗(爆 破)</p>	<p>Parque Roosevelt 付近で車の炎上及び、Parque Miramar 付近で爆発に関する2件の通報が入った。現場に到着した警察により、Parque Miramar (calle Gabriela Mistral y Violeta Parra) 付近に設置されていたATMが爆破され、中に入っていた全現金が盗まれていることが確認された。警察の調べにより、犯人等はATMを襲撃した後、逃走に使用した車を Parque Roosevelt 付近に乗り捨て火を付けたと見られている。</p> <p>また、車の中より、ATM強盗防止用インク付きの紙幣が発見された。警察は、2018年にモンテビデオ県及びカネロネス県においてチリ人犯罪グループが多数起こしたATM強盗事件の再発の可能性を疑っている。</p>
------------------------	---	-----------------------	--